

大会日程と会場一覧

7月4日(土)

*事前登録者数により教室が変更されることがあります

時間	プログラム		場所
9:00～	受付・荷物預かり所		アゴラ前
10:30～ 12:00	自由論題 A 司会：川村陶子 (成蹊大学教授)	大山 貴稔 (筑波大学大学院人文社会科学部国際公共政策専攻博士後期課程) 「国際貢献」の軌跡—冷戦後の日本における国際関係認識の一断面—	E202
		福田 州平 (大阪大学グローバルコラボレーションセンター特任研究員) フィラデルフィア万博の機械館に見るアメリカのソフト・パワー	
		岡 眞理子 (青山学院大学総合文化政策学部教授) アンステイチュ・フランセの設立とフランスの影響力外交	
自由論題 B 司会：鳥飼玖美子 (順天堂大学特任教授)	小林 葉子 (岩手大学人文社会科学部国際文化課程准教授) 海外語学体験からの脱却：教養系分野による模索と課題	E204	
	ブライアン・イングリッシュ (多摩大学グローバルスタディーズ学部教授) Preparing Japanese University Students for Study Abroad		
	曲建武 (中国大連海事大学)、馬其南 (中国遼寧省中医薬大学) 「人文化成」から大学の文化属性を読み取る		
自由論題 C 司会：木原 誠 (佐賀大学教授)	越智 淳子 (早稲田大学アジア研究機構アジア・北米研究所、日韓グローバル研究所招聘研究員) 大岡信の海外連詩に関する考察—参加詩人それぞれの文化背景をめぐって	E208	
	松居 竜五 (龍谷大学国際学部教授)		
	ハーバート・スペンサーと南方熊楠		
12:00～	昼食 お弁当引渡し		学食
12:00～ 13:15	常任理事会・理事会(常任理事・理事の方：お弁当引き渡し含む)		W301
13:30～ 15:30	共通論題①	白川 俊介 (九州大学比較社会文化研究院特別研究員)ほか3名 「新自由主義世界における多文化主義とナショナリズム—政治理論的検討」	E202
	共通論題②	吉岡 剛彦 (佐賀大学准教授)ほか4名 「性の規範を問いたずら—“アブノーマルな”セクシュアリティからの逆照射—」	E204
15:45～ 17:45	シンポジウム	基調講演 寺島 実郎 (多摩大学学長)「国際文化交流としてのグローバリズム」 パネルディカッション「インバウンド・ツーリズムの可能性と課題」	E301
18:15～ 19:45	情報交換会	会員、非会員、パネラー、受け入れ大学教職員等との交流会	学食

7月5日(日)

時間	プログラム		場所
8:30～	受付		アゴラ前
9:30～ 11:30	自由論題 D 司会：小林文生 (東北大学教授)	曹 臻 (大阪大学大学院人間科学研究科グローバル人間学専攻博士後期課程) 「クールジャパン戦略」の可能性と限界—東アジアにおける若者の意識調査から	E202
		片岡 悠平 (国立政治大学コミュニケーション学部テレビ放送学科修士課程) 「文化的近似性」による台湾の日本文化再生産—「哈日族」の出現から「流星花園」製作に到るまで	
		牧野 由香里 (関西大学総合情報学部教授) 対照修辞研究の文化差を超える十字モデル漫画教材の開発	
自由論題 E 司会：馬場 孝 (静岡文化芸術大学教 授)	齋藤 絢 (名古屋外国語大学外国語学部日本語学科助教) 韓国社会における民衆歌謡の伝承性について—民主化運動前後から現在までを中心として—	E204	
	倉 真一 (宮崎公立大学人文学部国際文化学科准教授) 外国人移民に映し出される強いネーションへの願望		
	大形 利之 (東海大学国際文化学部国際コミュニケーション学科教) IS(イスラーム国)とインドネシアとの関わりについての—考察		
	奥村 みさ (中京大学国際英語学部教授) シンガポールにおける文化遺産政策とツーリズム—英語圏文化を包摂したナショナル・アイデンティティの構築		
自由論題 F 司会：安田 震一 (多摩大学教授)	吉田 絵弥 (京都大学文学研究科行動文化学専攻社会学専修修士課程) 日本人高齢者のタイへの国際引退移動と生活位相選別	E206	
	堂下 恵 (多摩大学グローバルスタディーズ学部准教授) イギリス・コーンウォール地域の景観に対するグローバルな価値付け—景観ツーリズムの事例より—		
	田中 孝枝 (多摩大学グローバルスタディーズ学部専任講師) 「日本のサービス」の解釈—在中国日系旅行会社の職場を事例として—		
	齊藤 理 (山口県立大学国際文化学部准教授) 動詞抽出調査法をベースとした観光まちづくりの可能性について		
自由論題 G 司会：若林一平 (文教大学名誉教授)	川村 湊 (法政大学国際文化学部教授) 原爆を読む・原爆を語る	E208	
	桐谷 多恵子 (広島市立大学・広島平和研究所講師) 「核権力と文化—占領体制下における広島・長崎の「復興」を事例に—」		
	若林 一平 (文教大学名誉教授) 日本の原爆と原爆における専門職業人の社会的責任とは		
	奥田 孝晴 (文教大学国際学部教授) 「負の公共性」論を乗り越えるために…—基地と原爆が表象する中枢・周辺関係から「私たちの公共性」作りを考える—		
11:40～	昼食 お弁当引渡し		E301
11:50～ 12:50	総会、第5回平野健一郎賞表彰式		E301
13:00～ 14:00	フォーラム (文化交流創成コーディネーター資格認定優秀者による発表)		E301
14:15～ 16:15	共通論題③	鈴木 裕輔 (法政大学国際日本学研究所客員学術研究員)ほか3名 「伝統」は現代にどのように生きるか—実践的取り組みを通して—	E202
	共通論題④	齋藤 理 (山口県立大学准教授)ほか4名 「文化を紡ぐ人材」が、これからの社会にもたらすもの」	E204